

12月12日は、「十二国記」の日

# これは、あなたの物語。

■人生の指針のような小説。十二の国で息づく人たちの言動が、今生きている自分の種になるのが不思議で、そしてとても素敵な事だと気付いた物語です (22歳・女性) ■「裏切られてもいいんだ。裏切って卑怯者になるよりずっといい」。「月の影 影の海」の陽子のセリフがずっと心に残っています。いじめにあった時、この言葉のおかげで自分の気持ちを整理できました (37歳・女性) ■「人は、自分という国を統べる王となれ」という言葉に深く感銘を受けました。人は、地位に頭をたれるのじゃなく、その人がなしたことに畏敬を感じて自然に頭をたれるものという言葉にも通じるものがあり、恥ずかしながら60を越えようかという我が身を振り返って恥じ入るばかりです。しかし、余命をかけて我が国(自分)を少しでも豊かなものにしていきたい (62歳・男性) ■「世界も他人も関係がない。胸を張って生きることができるように、強くなりたい」という一文に涙がこぼれた。「月の影 影の海」が悩んでいた私に生きる勇気をくれたのを今でも忘れない (41歳・女性) ■十二国記を百回以上読んだ。今でも言葉では表現できないくらい好きです (20歳・女性) ■陽子と私は似てるような気がしました。周りの人達の顔色ばかり気にして生き辛い環境を自分自身で作っていたと思います。陽子が本当に少しずつ自分と向き合ってたたくましく生きていく話を読んで私も頑張ってたたくましく強くなろうと感じました。自分の生き方を見つめ直した作品。まだ十二国記を知らない方々に是非読んでもらいたいです (24歳・女性) ■「月の影 影の海」を読みながら何度も自分と重ねて泣いた。人生の教科書として十二国記を読み、時に音読しノートに書写した。悩んだ時には「陽子なら…?」「楽俊なら…?」と考えた (35歳・女性) ■十二国記に出会ったのは中学2年。何もかもうまくいわずに苛立っていた頃で、異世界へ連れ出してくれる物語は心躍るものがありました。人である以上、全てが幸せで、誰もが辛い思いをしない世の中など無いのだと知りました。人生嬉しいこと半分、辛いこと半分なのだ。辛いことがあれば十二国記を読み直し、十二国記に出会うことで強くなった自分があります。本当にありがとうございます! (26歳・女性) ■産休、育休中に十二国記を読み始めました。そして、今まで何度も読み返しました。生まれた娘は、今年18歳の高校三年生です。今は娘と二人で十二国記を読んでいます (47歳・女性) ■学生時代の私の志となった十二国記。何度も何度も読み返し、40を越えて全て読み直しました。10代、20代だった私の思いを思い出し、また40代の私は違う思いで読み直しました (42歳・女性) ■内気な女子高生、勝負なお嬢様、聖物の麒麟……個性豊かな登場人物に引き込まれて読むうちに、国とは何なのか? どうあるべきなのか? 自分ならどういう国を望むのか? など、今まで自分があまり意識していなかったことを考えるようになっていました (47歳・女性) ■「絶対の善意でなければ、信じていけないのか。人からこれ以上ないほど優しくされるのであれば、人に優しくすることができないのか? 誰かがどうだから、こうしてくれないから…ではなく、自分がどう在りたいのか? そんな問いを己へ向ける大切さを、気付かせてもらいました。十二国記に出会えて良かった。私の生き方のバイブルです (27歳・女性)



裏切られてもいいんだ。  
裏切って卑怯者になるより  
ずっといい。

『月の影 影の海』下巻より

## 小野不由美

完全版

# 十二国記

### シリーズ累計1200万部突破!



- 0 『魔性の子』
- 1 『月の影 影の海』上・下
- 2 『風の海 迷宮の岸』
- 3 『東の海神 西の滄海』
- 4 『風の万里 黎明の空』上・下
- 5 『丕緒の鳥』
- 6 『閩南の翼』
- 7 『華胥の幽夢』
- 8 『黄昏の岸 暁の天』

新作長編 『白銀の墟 玄の月』 全4冊

(一) 670円 (二) 710円 (三) 670円 (四) 750円 (各税別)

#### 私たちの読みたかった物語がここにある。

この長大なシリーズを貫くのは、今がどんなに辛くても、いつかはきっと夜が明ける。それを信じよう——という希望なのだ。嫉妬があり、憎しみがあり、生があり、死がある。意地があり、誇りがあり、絶望があり、歓喜がある。そういう感情の粒子が、あちこちから立ち上がってくる。私たちの読みたかった物語がここにある。

文筆評論家 北上次郎  
『文』12月号より



新潮文庫